

入居企業紹介 その166

SICに入居されている企業様をご紹介します。

>>> SIC-2 クレバ 株式会社 Create Value co.,Ltd.

「“化学”を通して、豊かな社会の実現に貢献する！！」



【代表プロフィール】

クレバ株式会社

代表取締役 金井 文彦 (かない ふみひこ)

長野県松本市出身 相模原市在住

クレバ社は平成30年11月に設立、その2か月後にSICに入居しました。代表の金井さんは大学卒業後、着物業界の会社で職工として伝統的な技術を習得しつつ、営業や関連イベントのプロデュースも行っていました。教師の家系で育ち、その影響で美術や造形に傾倒したこともあって、ビジネスの世界でもアートの感性を持ち合わせる事が大切だと考えています。

【創業のきっかけ】

前職では理化学機器の営業職等に従事していました。大学などの研究機関や大手メーカーを担当し、新技術や新素材と関わる事が多く、その中でも導電性ポリマーの新たな可能性を感じ、新規事業として事業化を目指しました。製造方法の確立や競合との差別化など、スピードが求められる領域でもあるため、前職の会社から独立し、金井さんが自ら創業者として「クレバ株式会社」を立ち上げ、多くの協力者に支えられながら新たなスタートを切ることとなりました。

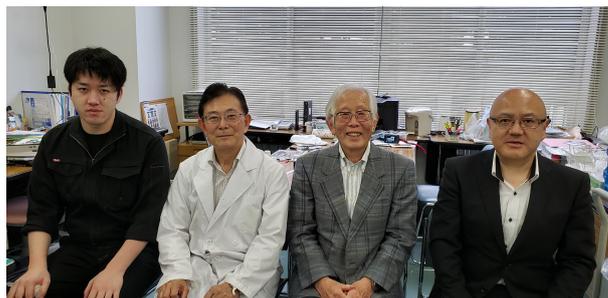
【事業紹介】

クレバ社は化学・化成品の開発・製造に関する知見・ノウハウを軸として、導電性ポリマーの中でも“PEDOT/PSS※”の製造技術開発に取り組んでいます。“PEDOT/PSS”は導電性ポリマーの中で最も市場で普及していて、タッチパネル、帯電防止、関連電子デバイスの他、多くの用途で使用され、さらなる市場成長が見込まれています。クレバ社では各企業からの様々な要求にカスタマイズ対応しつつ、低コストで

の材料提供を行うため、大学や企業との共同研究を進めながら、導電性ポリマー関連市場の拡大を目指しています。

クレバ社への技術指導のため、名誉顧問としてお迎えしているのが導電性ポリマーの発見と開発で2000年にノーベル化学賞を受賞した白川英樹先生(現筑波大学名誉教授)で、クレバ(Create Value: 価値あるものを創造する)という社名の名づけ親でもあります。その他、大手企業出身者や現役の大学研究者もクレバ社の研究開発やマーケティング活動などを支援しています。

クレバ社には会社設立から、導電性ポリマー以外でも化学関連の技術相談も多く寄せられるなど、化学製品等の開発において多くの企業から期待されています。



右から金井社長、白川英樹先生とスタッフの皆さん

導電性ポリマーを塗布した透明フィルムスピーカー。薄型でまげることが可能。次世代のスピーカーとして期待される。



※PEDOT/PSS・・・ポリチオフェン系導電性ポリマー。薄膜でも電気を通すほど導電性が非常に高い化合物。

【今後の目標】

クレバ社は“PEDOT/PSS”をはじめとする高分子素材に関するリーディングカンパニーとして、世界の技術革新に資する日本のものづくりの一翼を担うことを目指しています。そして、化学実験教室によって優秀な人材の育成・輩出にも貢献し、子どもたちの豊かな未来に向けた活動も行っていきます。(SIC片山)

クレバ株式会社

SIC-2 207号室

URL:準備中

E-mail: info@createvalue.co.jp



CREATE

VALUE Co.,Ltd.

入居企業トピックス

○今月の掲載記事紹介○

新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。ご紹介する記事は、SIC-1と2に掲示していますので、ご覧ください。

- 7月11日(木) **高瀬総合法律事務所** **かながわ経済新聞** - 年俸制を振り返る①-
- 7月30日(火) **株式会社ファストリンクテック** **神奈川新聞** - 先端信号処理技術で顧客のニーズに応え社会に貢献する **ビジネスウェーブ** -

南西フォーラム 41st FORUM

“産”と“学”とで紡ぐ中小企業イノベーション

変化の激しい市場環境の中で中小企業が生き残るためには、自社の独自性を高めることが求められます。その中で、産学連携は自社の成長につながる有用な手段の一つでありながら、中小企業が成果をつかみ取るには、いくつかの課題があります。

今回の南西フォーラムでは産学連携について、コーディネーター、大学・高専、中小企業の視点から事例等を紹介いたします。また、首都圏南西地域の産学連携に関するポテンシャルを客観的に見渡すことで、中小企業によるイノベーション創出の多様な可能性を見出すことを目的として開催いたします。

- 開催日 令和元年9月10日(火) 16:00~19:30(15:30より受付開始)
- 開催場所 青山学院大学 相模原キャンパス
- 内容
 - PROGRAM 1.**
 - 基調講演 「事例から読み解く、中小企業による産学連携」
 - 【講演者】 堺 奈都氏
 - 一般社団法人首都圏産業活性化協会 産学官連携コーディネーター (東京都立産業技術研究センター 特任技術アドバイザー)
 - PROGRAM 2.**
 - 分科会 A 「大学等の産学連携推進体制」 分科会 青山学院大学、神奈川工科大学、東京工業高等専門学校
 - 分科会 B 「中小企業による産学連携」 分科会 有限会社山内エンジニアリング、株式会社メディアプラス、株式会社志成データム
- ※詳しくは、SIC ホームページをご覧ください。
- 募集人数 150名 ○参加費 無料
- お申し込み・お問い合わせ先 担当：片山・磯谷 (SIC-1)

「SIC 空き室情報」

SICの空き室情報です。

- セミラボ：実験、評価、分析などウェットラボとして、設計、試作など研究開発ラボとして目的に合わせてご利用いただけます。
- 増床・移転をご希望の方はご検討ください。
- ※お問い合わせ先 担当：大谷・稲垣 (SIC-2)

knock! knock! 空き室情報!

SIC 空き室情報 (令和元年9月2日現在) ※お気軽にお問い合わせください。

- SIC-2 Creation Lab. (既存棟)
 - セミラボ (50.2㎡) 2F 202 号室
 - ※10月以降入居が可能です。
- SIC-2 R&D Lab. (増築棟)
 - セミラボ (63.18㎡) 4F 411~415 号室
 - 5F 511、512 号室

お知らせ

開催内容等、詳しくは SIC ホームページをご覧ください。

ワーク・エンゲイジメントを知っていますか？

～成果を生み出す“意欲・活力ある組織づくり”のポイント～

自社のさらなる成長を見据えたとき、意欲・活力にあふれた組織づくりが大切になってきます。仕事に対するポジティブな想い・考えを引き出すことで、働きがいのある職場づくりにもつながり、結果として、成果を生み出す力の向上にも寄与します。

そこで、今回の HINT セミナーでは、仕事に対する活力や熱意など、ポジティブな心理状態を表す考え方「ワーク・エンゲイジメント」をテーマに取り上げ、自社の成長につながる組織づくりのヒントを探ります。

- 開催日 9月30日(月)17:30-19:00
- 開催場所 SIC-2 大会議室
- 参加費 無料 (定員 20名)

【講師紹介】

桜美林大学 健康福祉学群 准教授 松田 与理子 氏



「日本は他国に比べてワーク・エンゲイジメントが低い」と言われています。今回のセミナーを通して、自社の現状を知り、ワーク・エンゲイジメントの高い組織づくりに取り組みませんか？

マーケティング専門職として国内外の企業に勤務した後、2011年にひとエナジー研究所創立。現在は、桜美林大学健康福祉学群・大学院心理学研究科 准教授。博士(学術)。公認心理師、指導健康心理士。日本心理学会や日本健康心理学会では資格認定委員や国際委員を務めている。

専門分野は、「健康心理学」「産業保健心理学」で、Well-being やコーチング、ワーク・エンゲイジメントなどについて、長年のビジネス経験も踏まえた研究に取り組むほか、SICの職場リーダー養成塾では、コミュニケーション研修の講師も務めている。

参加者の皆さまへ

実際に自社の現状を知りたい方には、社内で実施できる調査票をご提供し、後日、松田先生による分析結果をご報告いたします。

- ※詳しくは、SIC ホームページをご覧ください。
- お申し込み・お問い合わせ先 担当：大河内、樽川 (SIC-1)

一入居企業の皆さまへ

SICでは、セキュリティ強化のため、防犯カメラを導入しました。SIC-1とSIC-2の各棟の出入り口付近と駐車場にカメラを設置し、8月22日より稼働しております。



← 屋外の例



屋内の例 →

編集後記

少しずつ暑さが和らいでまいりました。食欲の秋に向けて、体調は準備万端でしょうか。只今、SICでは、9月5日(木)開催の創立20周年記念、SIC-2 R&D Lab.竣工式の準備中です。当日には「準備万端!」と言いたいと思っています。本日9月2日に、既に入居されている企業が数社いらっしゃいます。今週、来週と入居のお引越しが続きます。企業様へのお祝いのお花も届き始めています。引越しは大変ですが、活気があっていい空気が動いています。 荻島

★ご意見・ご感想をお待ちしています。 電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ: https://www.sic-sagamihara.jp 発行元:株式会社さがみはら産業創造センター (SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21 E-mail: koho@sic-sagamihara.jp